

F

建築石材用浸透性保護剤・防汚剤(自然色仕上げ)

アリストン

防汚性試験

テラコッタタイルにアリストンを塗布したものと無塗布のものに、図1のように日本酒、しょう油、オレンジジュース、コーヒー、尿を滴下し、72時間後水洗いをした。アリストンを塗布したテラコッタタイルの表面にはシミが残っていないのを検証した。

※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。

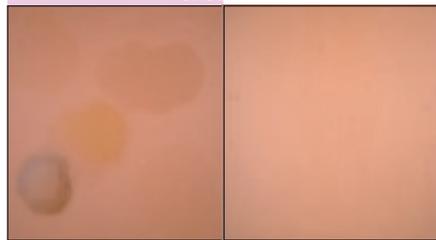
無塗布 アリストン塗布



図 1



72時間後水洗い



耐油性試験

テラコッタタイルにアリストンを塗布したものと無塗布のものに、図2のようにサラダ油、潤滑油、オリーブオイル、エンジンオイルを滴下し、24時間後水洗いをした。アリストンを塗布したテラコッタタイルの表面にはシミが残っていないのを検証した。

※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。

無塗布 アリストン塗布



図 2



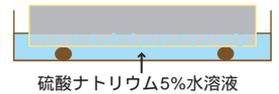
24時間後水洗い



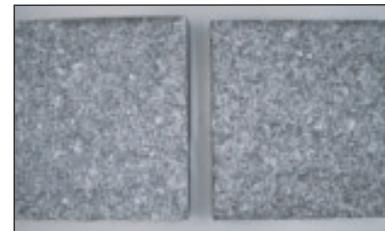
エフロ防止効果

御影石(パーナー仕上げ)にアリストンを塗布したもの(右)と無塗布のもの(左)とを硫酸ナトリウム5%水溶液に右図のように浸漬しエフロ防止効果を検証した。

※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。



浸漬直後



1500時間後



無塗布

アリストン塗布

吸い上げ防止効果

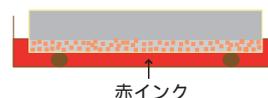
大理石にアリストンを塗布したもの(右)と無塗布のもの(左)とを赤インクに下図のように浸漬し吸い上げ防止効果を検証した。

※アリストンを2回塗布後、72時間常温(20℃)で養生乾燥したものを使用。

無塗布 アリストン塗布



1500時間後



赤インク



建築石材用浸透性保護剤・防汚剤(自然色仕上げ)

アリストン

特 長

- アリストンを塗布すると、基材内部に浸透して優れた撥油性と撥水性を持った保護層を形成し汚れの浸透を抑制するため、汚れにくく、また汚れても容易に除去出来るのでメンテナンスの負担を軽減します。
- 石材の吸水率を著しく低下させ裏面からの水分・不純物の吸い上げを防ぎ、凍結によるヒビ割れ・劣化・風化を抑制・防止します。
- 石材の風化・劣化・エフロレッセンス(白華)を抑制し長期にわたり保護します。
- 石材・タイル等の色合いを損なわず自然な風合いに仕上げます。

用 途

- 御影石・大理石・テラゾー・磁器タイル・レンガ・セメント目地等の保護及び汚れ防止。
- エフロの石材表面発生や裏面からの水分・汚れの吸い上げ防止。撥水・撥油効果による石材表面からの汚れの浸入防止。

使用 方法

- 1 塗布面に汚れ、ゴミ、油分、ワックス等が付いているとアリストンの密着・浸透が悪くなりますので、十分に洗浄除去し乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・ムラ・白化の原因となります。
- 2 塗布しない部分や基材にはマスキングをしてください。
- 3 アリストンを耐溶剤用容器に入れ、不織布・ローラー・ミヤキモップ・ハンディーモップ等で基材全体に塗りムラがないように塗布します。
(標準：2回塗り)
1回目塗布後、夏場約2～5分、冬場約5～10分たってから2回目の塗布作業をしてください。
(1回目の塗布後、時間を置きすぎると2回目が十分に浸透しません)
- 4 塗布作業中に液だまりができた時は速やかに拭き上げてください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。
- 5 鏡面仕上げの石材に塗布するときは、塗布後必ず乾拭きをしてください。また凹凸のある石材では吸い込みムラによる色ムラが出る場合がありますので、十分に乾拭きをしてください。
- 6 乾拭き後4～5時間は乾燥養生のため歩行しないでください。溶剤臭は換気条件が良ければ半日程で臭わなくなります。

塗 布 量 デ ー タ

基材の種類	塗布量(m ² /ℓ)	基材の種類	塗布量(m ² /ℓ)
大理石 鏡面仕上げ	40m ² /ℓ	施釉タイル	50m ² /ℓ
御影石 鏡面仕上げ	40m ² /ℓ	無釉タイル	30m ² /ℓ
御影石 凹凸面(バーナー等)	20m ² /ℓ	テラコッタ、レンガなど	15m ² /ℓ

塗布後のメンテナンス

- 1 日常管理の清掃は水拭きしてください。
- 2 水拭きで除去出来ない汚れや、定期的な清掃には「弊社石材専用洗浄剤」アクロンAB又はイシクリンで洗浄してください。
- 3 保護効果維持のために床面は1～2年、壁面は5～8年毎のリコートをお勧めいたします。



業務用

40・16ℓ

使用上の注意

- 揮発性の溶剤で、蒸気を吸入すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。
- 1 アリストンは引火性の物質です。MSDSを良く読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。
 - 2 スプレー施工は絶対にしないでください。
 - 3 ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。石材や施工条件によってシミ、ムラが発生する場合がありますので本施工前に必ずテストを行い基材及び周辺基材への影響をご確認ください。
 - 4 アリストンは原液のままお使いください。水や異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。
 - 5 下記の様な場合は塗りムラ、密着不良や白化の原因になりますので、各要因を改善してから使用してください。

施工条件や施工環境上のトラブル原因	改善策一例
基材が十分に乾燥していない。	十分に乾燥時間を取ってから使用してください。
梅雨時等の湿度が極端に高い。	扇風機・除湿機等を使用し施工環境を改善してから使用してください。
夏季の炎天下等、基材温度が40℃を超える。	施工する時間帯等を調整する等の対策を施してから使用してください。
気温が5℃以下の時や冬季の早朝など霜が降りる様な環境。	ジェットヒーター等を使用し施工環境を改善してから使用してください。

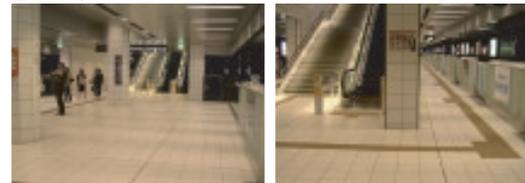
- 6 溶剤が蒸発してしまうと反応固着が終わりず。気温によって多少異なりますが、3日～5日で完全硬化します。
- 7 塗布後24時間は、水がかからないようにしてください。
- 8 作業に使用した機材、容器等はシンナーで洗浄してください。
- 9 口や目に入ったときは、速やかに十分な水洗いをして、医師にご相談ください。
- 10 皮膚や衣類等に付着したときは、速やかに水洗いしてください。
- 11 子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- 12 取扱い作業中は、局所排気装置を設け、換気をよくして作業してください。
- 13 容器から出すときは、こぼさないように注意してください。一度別の容器等に移した液はもとの缶に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- 14 取り扱い中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて防毒マスク又は送気マスク、保護メガネ、保護手袋、保護エプロン等を着用してください。
- 15 取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- 16 用途以外には使わないでください。

性 状

外 観	無色透明	取り扱い	火気厳禁
成 分	フッ素とシリコンの混合体	貯 蔵 性	1年(5～30℃密閉状態で保管)
溶 剤	第4類 第1石油類	危 険 等 級	Ⅱ

製品改良のため、予告なく内容を変更する場合があります。

■ 施工例



福岡市営地下鉄 天神南駅

(社)日本塗料工業会登録

登録番号 M12001

ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆

問い合わせ先 <http://www.toryo.or.jp>

施工要領書

製品名	建築石材用浸透性保護剤・防汚剤 アリストン (自然色仕上げ)	
特 長		
<ul style="list-style-type: none"> ■アリストンを塗布すると、基材内部に浸透して優れた撥油性と撥水性を持った保護層を形成し汚れの浸透を抑制するため、汚れにくく、また汚れても比較的容易に除去出来るのでメンテナンスの負担を軽減します。 ■石材の吸水率を著しく低下させ裏面からの水分・不純物の吸い上げを抑制し、凍結によるヒビ割れ・劣化・風化を抑制します。 ■石材の風化・劣化・エフロレッセンス(白華)を抑制し長期にわたり保護します。 (既に出てきているエフロは完全に止めることはできません。) ■石材・タイル等の色合いを損なわず自然な風合いに仕上げます。 		
用 途		
<ul style="list-style-type: none"> ■御影石・大理石・テラゾー・磁器タイル・レンガ・セメント目地等の保護及び汚れの抑制。 ■エフロの石材表面発生や裏面からの水分・汚れの吸い上げの抑制。 撥水・撥油効果による石材表面からの汚れの侵入の抑制。 		
使 用 方 法		
<ol style="list-style-type: none"> ①施工面に汚れ・ゴミ・ホコリ・油分・ワックス等が付いているとアリストンの密着・浸透が悪くなりますので、充分に洗浄除去し乾燥させてください。よく乾かないうちに塗布すると密着不良・変色・ムラ・白化等の原因となります。 ②施工しない箇所や周辺基材を養生してください。 ③アリストンを耐溶剤用容器に入れ、不織布・ローラー・ミヤキモップ・ハンディーコーター等で基材全体に塗りムラがないように塗布します。(標準:2回塗り) 1回塗布後、夏場約2~5分、冬場約5~10分たってから2回目の塗布作業をしてください。 (1回目の塗布後、時間を置きすぎると2回目が十分に浸透しません。) ④塗布作業中に液だまりができた時は速やかに拭き上げてください。液だまりを放置すると色ムラの原因となります。 ⑤鏡面仕上げの石材に塗布するときは、塗布後乾燥前に塗布前の光沢に戻るまで必ず乾拭きをしてください。乾拭きが不十分だとムラになります。また凹凸のある石材では吸い込みムラによる色ムラが出る場合がありますので、充分に乾拭きをしてください。 ⑥乾拭き後4~5時間は乾燥養生のため歩行しないでください。溶剤臭は換気条件が良ければ半日程で臭わなくなります。 		
標準塗布量(2回塗り) ※塗布量は基材によって多少異なります。		
基材の種類	塗布量(m ² /ℓ)	塗布量(ml/m ²)
大理石・御影石(鏡面仕上げ)	30~40m ² /ℓ	25~30ml/m ²
御影石 凹凸面(バーナー仕上げ)	15~20m ² /ℓ	50~65ml/m ²
施釉タイル	25~35m ² /ℓ	30~40ml/m ²
無釉タイル	15~20m ² /ℓ	50~65ml/m ²
使用上の注意		
揮発性の溶剤で、蒸気を吸引すると中毒を起こす恐れがありますから、取扱いには下記の注意事項を守ってください。		
<ol style="list-style-type: none"> ①アリストンは引火性の物質です。施工要領書、使用上の注意及び SDS をよく読み、作業する時は換気を良くして火気には充分注意してください。 ②エアレス・スプレー・噴霧器等で絶対に施工しないでください。 ③ご使用前に貴社使用条件及び目的に適合するか、充分検討の上ご採用ください。基材や施工条件によってシミ・ムラ等が発生する場合がありますので、本施工前に必ずテストを行い基材及び周辺基材への影響をご確認ください。 ④アリストンは原液のままお使いください。水や異物が混入すると使用できなくなりますのでご注意ください。 ⑤施工時の適切な環境は、気温及び基材温度が15~30℃かつ、湿度が50~75%です。 施工時に上記の条件を満たさない場合は、環境を改善してください。 ※適切な施工条件を満たさない場合は、白化・ムラ・密着不良・乾燥不十分によるベタつきが起こる可能性があります。 ⑥溶剤が蒸発してしまうと反応固着が終わります。気温によって多少異なりますが、3日~5日で完全硬化します。 ⑦塗布後24時間は、水がかからないようにしてください。 ⑧作業に使用した機材、容器等は溶剤・シンナー等で充分に洗浄してください。 ⑨芝・植木・池等の近くで作業するときは必ず養生の上ご使用ください。 ⑩作業するときは換気をよくし、必要に応じて局所排気設備のある所で作業してください。 ⑪必ず適切な保護具(保護マスク・保護メガネ・不浸透性の保護手袋・保護衣・長靴等)をお使いください。 ⑫口や目に入ったときは、速やかに充分な水洗いをし、医師にご相談ください。 ⑬手や皮膚・衣類についたときは、速やかに充分な水洗いをしてください。異常のある場合は医師の診察を受けてください。 		

- ⑭子供の手の届かない冷暗所に密栓して保管してください。運搬目的以外での車内保管や別の容器に移しかえての保管はしないでください。
- ⑮容器から出すときは、こぼさないように注意してください。一度別の容器等に移した液はもとの容器に戻さないでください。開封後はなるべく早くご使用ください。
- ⑯作業の際には、飲食・喫煙等は絶対に行わないでください。
- ⑰取り扱い後は手洗いを充分行ってください。
- ⑱用途以外には使わないでください。
- ⑲施工に専門知識・技術を要するため、業務用として販売しています。一般の方はご使用をお控えください。

※作業者及び第三者の安全確保のために必ず適切な措置をとってください。

※排水・臭い・揮発ミスト・植物等の環境への影響について事前確認の上、必ず適切な措置をとってください。

●製品改良のため、より適切に使用していただくため、予告なく内容を変更する場合があります。

●アリストンは、社団法人日本塗料工業会のホルムアルデヒド規制(F☆☆☆☆)登録商品です。

塗布後のメンテナンス

- ①日常管理の清掃は水拭きしてください。
- ②水拭きで除去出来ない汚れや、定期的な清掃には弊社商品石材用洗剤『アクロン AB』又は『イシクリン』で洗ってください。
- ③保護効果維持のために床面は1～2年、壁面は5～8年毎のリコートをお勧めいたします。

性 状

外 観	無色透明～淡黄色透明	取り扱い	火気厳禁
成 分	フッ素とシリコンの混合体	貯蔵性	1年(5～30℃未開封状態で保管)
溶 剤	第4類第一石油類 危険等級Ⅱ	※食品衛生法・食品、添加物等の規格基準に適合	